

第3回定例会



決算審査特別委員会 9/12～9/18

平成30年度各会計決算認定について、9月12日から18日まで決算審査特別委員会が行われました。伊藤委員長、安藤副委員長がそれぞれ選出され、最終日の市長総括質問には、新政クラブ、民主党、日本共産党、一刻者俱楽部からそれぞれ代表者の総括質問が行われました。実質単年度収支は4億4557万円のマイナスでしたが、健全化判断比率も健全段階を維持し可決となりました。

第3回定例会は、9月6日から20日までの15日間の日程で開催され、令和元年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算の3件、条例の改正等の議案10件、平成30年度各会計決算認定10件、意見書案4件を審議しました。意見書案第10号のみ賛成多数で可決、その他の議案はすべて全会一致で可決及び認定となりました。その他4件の報告を報告済に、教育長の任命、各委員の選任4件、功労表彰1件の合わせて6件を同意としました。

かわら版

No. 53

今年7月2日に発生した火災により通行不能となつた茂尻人道跨線橋の昇降階段部分に応急対策として仮設の階段を設置するための補正予算が提案され全会一致で可決されました。火災が発生して以降、地域住民の方々から「通行出来ないと不便だ」という声も多数あつたことから、冬のことも考え、臨時会での早急な提案・可決となりました。補正予算額は400万円。あくまで仮設の階段を設置するもので、今後調査を行い、どのように改修等をしていくのか検討していくこととなりました。

茂尻跨線橋復旧へ



第2回臨時会 8/13

一般質問（8名）



木村 恵

子どもの虐待について

【質問】赤平市の児童虐待の相談件数、児童相談所との連携についての現状を伺う。

【答弁】年々虐待通告事案が増加しており、今年度、これまでに寄せられた虐待通告件数は6件。通告後48時間以内に児童相談所や、警察と連携を図りながら対象児童の安否確認を行うほか、虐待の背景の調査、関係者による連絡会議の開催、事後のフォロー・アップ等を複数回行い再発防止に努める等の対応をしている。

【質問】2016年の法改正により市区町村にも独自の専門性が求められるようになつたが、現在赤平市の体制は十分に取

福祉灯油について

【質問】年金の先行きも
不透明な中、高齢者の方々
の暮らしの不安はいつそ
う大きくなっている。冬
の間の暮らしを少しでも
安心してもらえるよう福
祉灯油の制度化をすべき
ではないか。

て灯油価格の上昇は大きな負担となることから、各市町村の実施状況、北海道の総合交付金の活用、年度限りの運用の見直しによる恒久的な制度の必要性実施方法など研究していく。

【質問】昨年の答弁とほぼ変わらない。第6次総合計画、次期総合戦略策定に合わせ議論してほしい。

【答弁】意見として受け賜り、今後検討していく

第6次総合計画について

【質問】市民アンケートでは、第5次総合計画の検証を織り込んでいるが、市民会議の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

〔答弁〕 18歳以上の市民2,000人に用紙を送付し、734人から回答があつた。第5次総合計画での施策に対する評価では、今後の重要施策として、商業振興、地域医療、公共交通の確保、除雪対策が上位となつた。10月には、市民会議での基本構想の素案を策定し、住民懇談会等での意見交換を経て、12月までに基
本計画素案策定、3月に答申を受ける予定である。



御家瀬 遵

市長の政策について

【質問】 市長が、赤平市をどうしたいのか政策が見えない。アンケート調査や事業決定過程の透明化が柱というだけでは市民の納得は得られないと思う。前市長との政策の違いを伺う。

トの実施」「事業の決定」「プロセスの確立」を公約に掲げており、前市長との政策の違いということではなく、政治姿勢と政治理念は、「住民福祉の向上」が主旨である。

防犯等のLED化について

質問 各町内の防犯灯維持管理費軽減のため、LEDへの切り替えについて伺う。

【答弁】LEDは低価格傾向にあり、導入後の消費電力も抑えられ、町内会の負担軽減も見込めるので、助成制度を活用して、順次、切り替えていきたい。

新政クラブ



安藤 繁

2019/11/1

が36.7%で統計上は十分だと思う。アンケートの結果を参考にし、住民懇談会等の意見も聞いて第6次総合計画を策定する。

【質問】炭鉄港の今後の取り組みについて伺う。

【答弁】今後は、ストオリーエ全体にわたるPRや、次世代に伝承する事業を国の補助金を活用しながら取り組んでいく。

電力発電について

【質問】住民の反対にも関わらず、住宅地にソーラーパネルの設置がされた。早急に条例を制定し、規制すべきと思うが。

【答弁】今後、条例等の制定も含めて、北海道建設部など関係機関と検討していく。

町内会について

【質問】町内会の各プロジェクトの合同事業の実施及び合併について伺う。

【答弁】共同で会館を利

用していくなど、町内会連合会等と話しあっており、市も協力していく。

民主クラブ



東 成一

今後の赤平の農業について

【質問】農業経営者は、アメリカとの自由貿易協定や二国間交渉で日本への農産物の輸入の増加が危惧され、苦境にたたかれている。農業従事者の高齢化、後継者不足、人手不足等の問題解消のためスマート農業が導入され、農水省でも支援事業がある。当市としては、このような制度の活用促進に取り組む考えがあるのか。また、市独自の農業助成制度等をつくる計画はあるのかを伺う。

【答弁】空き家の老朽度、危険度を5段階に分けてデータベースを作成している。所有者が判明している空き家で解体などの緊急度が極めて高いEランクの空き家については、適正に管理するよう通知等を進めている。身体又は財産に重大な損害を及ぼすなど、緊急に対応する必要がある場合には、危険な状態を回避するため、必要な最小限の措置を講じることができるよう、緊急安全措置の規定を条例で定める等進め

ばかりであり、当市としても農業者の意向を踏まえながら、国の事業を含めて検討していく。

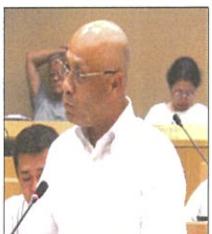
空き家対策について

【質問】市民は、空き家の強風による屋根の飛散、家屋の倒壊や落雪事故等を心配している。空き家の危険度ランクによるデータベースの作成、空き家の除去要請における行政指導等の手順書、空き家の緊急時安全対策条例等の制定の考えはあるのかを伺う。

【答弁】文京保育所81名・若葉保育所30名の児童をお預かりしている。幼児教育無償化の影響で入所希望が増える可能性のある3歳から5歳までの子どもについても、受け入れは可能と考えている。年齢等によつては希望に添えない場合もあるため、担当者に相談を頂き、保護者の方々のニーズを充たせるようできる限りの対応をさせて頂く。

【質問】昨年10月、今年4月に保育士の中途採用、新規採用を行つているが、その後、勤務異動や退職

民主クラブ



伊藤 新一

保育所の現状について

【質問】10月から始まる幼児教育の無償化に伴い、入所希望が増える可能性があると思われるが、文京・若葉保育所の今現在の入所状況と、今後の受け入れ状況について伺う。

【答弁】8月末日現在、文京保育所81名・若葉保育所30名の児童をお預かりしている。幼児教育無償化の影響で入所希望が増える可能性のある3歳から5歳までの子どもについても、受け入れは可能と考えている。年齢等によつては希望に添えない場合もあるため、担当者に相談を頂き、保護者の方々のニーズを充たせるようできる限りの対応をさせて頂く。

高齢者世帯等除雪費助成事業の見直しについて

【質問】助成事業が実施されてから6年になる。除雪にかかる経費も年々上がつており、高齢者の金銭的負担も増えている。10月には消費税増税により、更なる負担増も考えられることがから見直しの考え方について伺う。

【答弁】他市町村の実施状況を参考にしながら、委託先である社会福祉協議会にも実情を伺い、高齢者などの在宅支援サービスが持続的に、より良い形でおこなえるように研究を行つていく。

者が出ている。保育士の勤務状況の現状について伺う。

【答弁】待機児童の解消・安定した保育サービスの提供を図るため、保育士の確保に努めているが、退職者などにより苦慮している。定期的な休暇の取得機会の確保など、従業の向上を図るべく努めていく。

高齢者世帯等除雪費助成事業の見直しについて

【質問】助成事業が実施されてから6年になる。除雪にかかる経費も年々上がつており、高齢者の金銭的負担も増えている。10月には消費税増税により、更なる負担増も考えられることがから見直しの考え方について伺う。

【答弁】他市町村の実施状況を参考にしながら、委託先である社会福祉協議会にも実情を伺い、高齢者などの在宅支援サービスが持続的に、より良い形でおこなえるように研究を行つて行く。

2019/11/1

一刻者俱楽部



鈴木 明広

水道事業について

【質問】浄水場施設をはじめとした水道インフラ全体が老朽化し、更新時期はかなり迫ってきていると思う。耐震化工事後に浄水場の建て替えをするのでは、経費がかさみ非合理的な選択になる。

現在のおおまかな見積もりで構わないが、総事業費と企業起債における償還期間と予定利息について伺う。

【答弁】浄水場については規模を縮小した建て替えを行うと、更に数十億円以上の事業費を要する。来年度以降に中長期的視野模と更新基準を定め全体費用の中で、事業費を算定なので、今後の施設規



統合小学校のイメージ図

統合小学校新築について

ないと考えている。

【質問】アベノミクス崩壊後は、金利上昇に伴う経済不安と不景気が懸念される。新築は将来世代への負担が増えるので変

更し、既存の小学校を「改修」して統合小学校とするのが、今の赤平市の財政状況にとつては身の丈にあつてていると思うが見解を伺う。

【答弁】今後における金利上昇に伴う経済不安や、将来世代への負担軽減を目的とした改修事業による施設整備についての考え方としては理解できる

が、統合小学校については、予定通り新築による整備を進める。

学力向上策について



【質問】取り組みを始め5年が過ぎた。向上策について考える時期に來

【答弁】子ども塾・公設学習塾の内容を検討し、拡充などを考えたい。ましては、先進地と当市を比較・検証する為の視察校教育を目指したい。

地域交通について

【答弁】市民アンケートで「公共交通の確保」の部分では、満足度ワース

地域交通の確保について

新政クラブ



竹村 恵一

考へてゐるか伺う。どの様に

考へてゐるか伺う。家庭における生活習慣の改善に向けた働きかけに努めたい。

選挙について

新政クラブ



北市 熱

選挙について

議員通常選挙において、

投票時間の短縮に至った

経緯と市民への周知につ

いて、更に、投票所閉鎖

も、取り組みの継続・拡

充をし、意識改革を行い、

全国平均を上回る事を目

指したい。

投票時間の短縮

を受けて決定した。市民

周知については、広報

かびら7月号と、投票入

場券に赤枠赤字で投票時

間変更の明記の2種類の

方法で周知した。投票

所閉鎖後に来られた市民は

6名おり、今後、市民周

知を徹底していく。

【質問】地域交通について、市民アンケートの分析結果を基に、どの程度の検討がなされているのか進捗状況を伺う。



かもい岳スキー場について
【質問】歌志内・かもい岳スキー場の広域運営の可能性について伺う。

【答弁】かもい岳スキー場の休止については、赤平市民はもとより全国のスキーヤーが残念に思っている。かもい岳スキー場は、近隣住民、全道・全国のスキーヤーにとても、魅力的な地域資源であると理解している。赤域運営の可能性については歌志内市の方針が重要であると思っているが、現在、そのような話は来ていらない状況である。

ト2であり、分析の結果、改善の必要性は第3位となり、赤平市の重要課題のひとつと認識し、赤平市に適した「地域公共交通」体系について検討し通」を予定している。

今秋には先進地への視察を予定している。

北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会



8月22日に北海道市議会議長会道央支部協議会の議員研修会が砂川市で行われました。「防災意識の高揚に向けたヒューマン的な対策の取組みとは」を防災ワークショップを通じて学ぶ「災害・まち・ひとを知る」と題した講演があり、赤平市議会は全議員が参加しました。防災というとダムや堤防などのハード対策、ハザードマップや防災無線などのソフト対策が思い当たりますが、それだけではなく、ワークショップや地図を使った災害イメージゲーム、クロスロードゲームやワールドカフェ方式などを取り入れ、避難することを常識化する防災意識の啓発がヒューマン的な対策だと言う内容でした。

第15回赤平市赤い羽根共同募金チャリティー

8月25日(日)赤い羽根共同募金チャリティーアイテイーが開催されました。赤平市議会は毎年参加しており、昨年から全員参加ではなく代表者が工ントリーするようになりました。赤平市議会は毎年参加しており、昨年選した東議員(写真中央)、安藤議員(写真左)、鈴木議員(写真右)の3名の議員が市議会を代表して参加しました。坂本九さんの「見上げてごらん夜の星を」を熱唱しました。会場からも熱い声援を頂きました。



議会の動き

- 7/ 8 中空知ふるさと市町村圏議員交流会（滝川市）

8/ 8 議会運営委員会

8/13 第2回臨時会

8/19 行政常任委員会

 - ・除雪作業時における事故について
 - ・第6次赤平市総合計画策定について
 - ・根室本線対策協議会について
 - ・炭鉄港推進協議会について

議会改革検討協議会

8/22 北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会（砂川市）

9/ 3 議会運営委員会

9/ 6 第3回定例会（～20日）

議会運営委員会

決算審査特別委員会（委員長 伊藤 新一 副委員長 安藤 繁）

9/ 9 行政常任委員会

 - ・赤平市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
 - ・赤平市職員の給与に関する条例等の一部改正
 - ・赤平市税条例の一部改正・赤平市立幼稚園条例の一部改正
 - ・赤平市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
 - ・赤平市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
 - ・赤平市廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例の一部改正
 - ・赤平市水道条例の一部改正・損害賠償額の決定及び和解・第6次赤平市総合計画について
 - ・幼児教育、保育の無償化について

9/12 決算審査特別委員会（～18日）

 - ・平成30年度赤平市一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、下水道事業、霊園、用地取得、介護サービス事業、介護保険、病院、水道（剰余金の処分含）事業会計決算認定について

10/ 7 議会改革検討協議会

◎意見書4件可決

全会一致での採択3件

*高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

*生産段階からのプラごみ減量対策を求める意見書

*マクロ経済スライドの廃止を検討し「減らない年金」の実現を求める意見書

賛成多数での採択1件

*「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書

※詳しい議決結果及び賛否の公表については赤平市議会ホームページに掲載しています。

9月6日から定例会が開会されました。今回の定例会では、新人議員3人を含む8人が市民の安心・安全の確保、福祉の向上など、赤平市の振興のため、幅広く活発な質問をし、市長からも真摯な答弁がありました。また、決算審査特別委員会において、平成30年度会計の審査が行われ、20日に閉会いたしました。

今回、傍聴された方は、延べ32名で6月より少なく、もっと多くの方に来て頂けたらと思います。

市民の皆さんに、少しでも議会の様子を知って頂くために、要点を簡略にまとめ「かわら版」としてお届けいたします。

ご意見ご感想ご要望をお待ちしております。

編集後記

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL-321-1858までお願いいたします。